

じやがいもの畝と植え付け

NPK= 9-9-9, 追肥 NK=6-6 一回、畝幅 90 cm 株間 30 cm

1. 90 cmの畝幅の最初に1番畝の中心45 cmを計り、次の畝の中心は90 cmごとに計ってゆくようにすると測量作業がはかどる。畝の中心線にダンポールを打ち、植え付け予定の畝数の畝の中心を全て測量する。3月中旬までには植え付けが完了するように準備しておく。
2. 3人一組で、2人が手前と奥に立ち中心線を結ぶように線引きをする。1人が支えに使う杖に長い棒(鋤を逆さに使ってもよい)を持って、畝の中心線の上に足跡をつけて歩く。次ぎ、次と畝の中心線に足跡をつけてゆく。
3. 足跡をつけた上を鋤の幅くらいで15 cmほどの深さに直線に溝を掘ってゆく。
4. 馬鈴薯配合(N-P-K=10-15-12)を畝1mあたり100gを各畝にすじまきにする。
耕耘時点に元肥が撒かれていない場合は 硫Mg、BM重焼燐、畑のカルシュウムをそれぞれ1mあたり30g(合計90g)くらいとなるような混合元肥を舟などで必要分用意して同時に施肥する。
5. 施肥後、肥料と土とを棒を使って溝の中を軽く引きまわして混ぜるように歩く。
6. 5 cmほど合い土を溝全体にかぶせ、種イモを30 cmくらいの間隔で、揃えて切り口を下向きにして地面につけるように並べてゆく。(種イモは切って3-4日乾かす、切ったばかりのものは植えない。)
7. 種イモの上に覆土軽く寄せて小山をつくる程度に畝を仕上げ、畝の中心部分の土を軽く整える。種イモは5-10 cmくらいの深さで、あまり深くしてはいけない。
8. 畝の中心線をイメージしながら、鋤で軽く押し付け、荒らしてしまった畝間を鋤などで軽く整地をしておく。水撒きは必要ない。
9. 5月連休頃に追肥 NK 化成(18-0-8) 100g/m、除草を兼ねた土寄せを行う。5月末までに2回目の畝の土揚げを行う。

